

# 防災産業展など4展示会

## きょう開幕

東京ビッグサイト

1月29日から31日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト南展示棟1-4ホールで「防災産業展」「グリーンインフラ産業展」「国際宇宙産業展 I S I E X」「G空間EXPO」が開催される。4展示会それぞれ分野・業界を広く網羅する専門展で、いずれの展示会も未来をつくる新技術・新産業にフォーカスしている。主催は日刊工業新聞社(G空間EXPOはG空間EXPO運営協議会との共催)。開場時間は10時から17時まで。入場料は1,000円(入場登録者、招待状持参者、中学生以下は無料)、G空間EXPOは入場無料(入場登録が必要)。4展示会とも相互入場できる。また、オンライン展も2月7日まで開催している。リアル展を訪れる前の情報収集や、リアル展では取りきれなかったアブソリュートとして活用できる。

### 防災産業展

「防災産業展」は防災・減災に関する製品やソリューションが集まる。「防災・減災によるレジリエンス社会の実現へ」をテーマに、107社・団体が出展する。自然災害対策、帰宅困難者対策、情報システム、飛行ロボット(ドローン)・仮想現実(VR)活用サービス、事業継続計画(BCP)対策などが展示される。

2024年1月1日に石川県能登地方を震源とする、最大震度7を観測した能登半島地震が発生。災害関連死を含め500人以上が亡くなり、住宅の全壊と半壊は合わせて3万棟近くを数える。8月8日には、日向灘を震源とする地震が発生。宮崎県南部で最大震度6弱を観測した。気象庁は南海トラフ地震が発生する可能性が高まっているとして同日、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を初めて発表した。

近年は線状降水帯の発生やゲリラ豪雨により豪雨被害も激甚化。首都直下地震や南海トラフ地震に加え、特別警報級の大雨など、特別警報級の大雨など

### グリーンインフラ産業展

「グリーンインフラ産業展」は「持続可能な魅力ある国土・都市・地域づくり」をテーマに、87社・団体が出展する。緑化、治水、河川対策、公園・施設管理、ヒートアイランド対策、水質浄化、汚水処理システム、都市計画、交通・モビリティなど、グリーンインフラ関連の製品や要素技術、ソリューション、先行事例などを幅広く紹介する。

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用などのハード・ソフト両面において自然環境が持つ多様な機能を活用し、持続可能な魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取り組み。国連の持続可能な開発目標(SDGs)達成のため



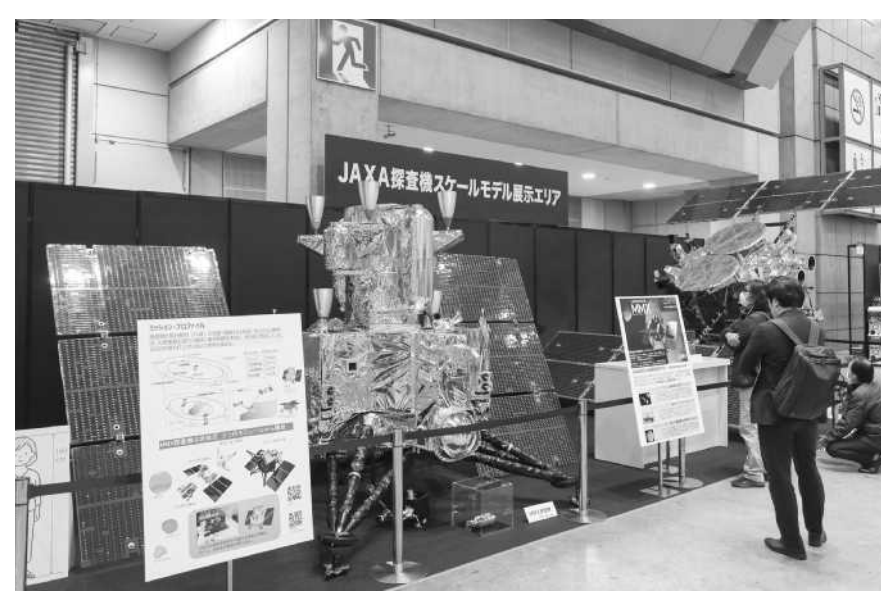
最新の防災・減災技術などの提案に期待が高まる(防災産業展2024)

「G空間(情報)」は、将来が期待される重要科学分野の一つである地理空間情報技術(Geospatial Technology)の頭文字のGを用いた、地理空間(情報)の愛称。「地理空間情報科学で未来をつくる」をテーマに52社・団体が出展する。

「G空間EXPO」では、地理空間情報高度活用社会(G空間社会)の実現に向けて、産学官民が連携

「G空間(情報)」は、地理空間情報と衛星測位の活用を推進する場として、測量、地図、位置情報サービス、全地球航法衛星システム(GNSS)測位、準天頂衛星、地上レーザ計測などの製品・サービスが展示される。

30日15時から南2ホール内メインステージで国土交通省都市局国際・デジタル政策課の十川優香企画専門官とシンガポール国立大学のフィリップ・ピリエツキの今後について話し合う。



宇宙産業で使用される最先端の機器が展示された(2024国際宇宙産業展 I S I E X)

### 国際宇宙産業展 I S I E X

「国際宇宙産業展 I S I E X」は「宇宙」という新たなビジネスステージへをテーマに、27社・団体が出展する。

30日10時半から南3ホール内国際宇宙産業展 I S I E X 会場、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の三保和之経営企画部長が「JAXAの宇宙開発利用の現状と将来展望」と題して講演する。JAXAが進める宇宙開発利用の動向と民間企業との連携や、国内外の宇宙産業の最新状況について紹介する。

民間ロケットや人工衛星の製造・打ち上げ、アルティメット計画での宇宙空間美観試験や月面到達に向けた開発など、宇宙産業は今まさにビジネスとしての転換期を迎え、本格的なグローバル市場となっている。

日本のモノづくりを基軸にした優れた技術やサービスが、宇宙開発・宇宙利用で世界市場を開拓し、宇宙産業の成長と拡大につながることを目指している。「国際宇宙産業展 I S I E X」が開催される。

内メインステージで office N seijun の西島清順代表取締役が「グリーンインフラの光と影、そしてそのスイッチ」をテーマに講演。国内外の政府機関、企業、王族などからの、さまざまな依頼に応じて植物を育てるプラントハンターである西島氏が、現在のグリーンインフラの現実や課題、今後の展望について語る。

1月29日		1月30日		1月31日			
時間	講演名/登壇者名	時間	講演名/登壇者名	時間	講演名/登壇者名		
11:30	グリーンインフラ産業展 自治体でのグリーンインフラ実装における課題と解決に向けた道筋 【冒頭挨拶】東京都知事 小池百合子氏 グリーンインフラ官民連携プラットフォーム技術部会長/土木研究所 流域水環境研究グループ長 中村圭吾氏 杉並区担当、世田谷区担当、多摩市担当者	10:30	G空間EXPO 旅が10倍楽しくなる!“地図プラ”の魅力 ~NHK「プラタモリ」番組制作の現場から~ NHK「プラタモリ」プロデューサー 吉田光志氏	10:45	防災産業展 能登半島地震を契機とした自治体の災害対応力強化と防災先進技術の未来 内閣府 政策統括官(防災担当) 付参事官(防災計画担当)/内閣官房 防災円滑化推進室参事官 吉田和史氏 構造計画研究所 執行役員大阪支社長/西日本営業部長 佐藤社氏 イオン 責任者リスクマネジメント担当 津末浩治氏 危機管理教育研究所代表 国崎信江氏	12:00	G空間EXPO 「イチBizアワード2024」表彰式 表彰式 【第1回 国土交通省 地理空間情報データチャレンジ ~国土数値情報編~】
13:00	グリーンインフラ産業展 グリーンインフラの光と影、そしてそのスイッチ office N seijun代表取締役/プラントハンター 西島清順氏	13:00	防災産業展 能登半島地震から学ぶトイレ衛生対策 日本トイレ研究所 代表理事 加藤篤氏 元輪島市立大屋小学校避難所運営者/輪島市民まつり実行委員長 澤田英樹氏 国土交通省 不動産建設経済局建設振興課長 城麻美氏	12:50	G空間EXPO 表彰式 表彰式 【第1回 国土交通省 地理空間情報データチャレンジ ~国土数値情報編~】	15:30	グリーンインフラ産業展 グリーンインフラ×地方創生・地域活性化 グリーンインフラを活用した未来の都市のあり方、まちのあり方 筑波大学 名誉教授 石田東生氏 大阪府・大阪市大都市計画局拠点開発室副理事 吉川玲子氏 フリーキャスター 伊藤聡子氏
15:40	防災産業展 「防災力を高めるために、町会と連携した地域コミュニティづくりとインフラづくり」-デジタル赤坂の取組事例から- 鹿島建設 デジタル推進室 菅原良和氏 東京科学大学 環境・社会理工学院建築学系准教授 大森文彦氏 Andeco代表取締役(一級建築士) 早川慶朗氏 防災アナウンサー 奥村奈津美氏	15:00	G空間EXPO PLATEAUが展望する都市デジタルツインの今後 国土交通省 都市局国際・デジタル政策課 企画専門官 十川優香氏 シンガポール国立大学 准教授 フィリップ・ピリエツキ氏	16:40	文化シヤッター 文化シヤッターは集中豪雨などによる建物内部への浸水被害を最小限に抑える止水マスタースタイルの製品を出品する。「ラックセットハイタイプ」は浸水高さ1.5mまで対応する止水板。会場で設置を体験できる。「アクアフロート」は、水の浮力により自動で止水板が起伏・倒伏されるため、電源不要かつ操作不要、水を使った実演により、製品の止水性能を体感できる。 さらに、熱中症対策製品の屋内用遮熱シート「はるクール」の遮熱効果を体感できる。工場や倉庫、体育館の天井に設置するだけで太陽光による輻射熱を反射して室内の温度上昇を抑え、エアコン稼働時の消費電力も、CO <sub>2</sub> 排出量の削減に貢献する。		

文化シヤッター

# 夏に強い!

## 今から始める 安心対策

暑さが増し、豪雨が増える夏。  
施設や大切な場所を守るための備えはできていますか?  
文化シヤッターは、安心して暮らしや環境、そして大切な資産を守るための技術と製品をお届けします。

**防災産業展2025**  
2025年1月29日~31日  
東京ビッグサイト(南1ホール)小間番号B-01  
止水製品の設置体験、止水実演  
はるクールの設置効果体験

# 水害対策に!

BX止水板  
ラクセット ハイタイプ

簡単スピーディー設置!

最大高さ1,500mm!  
1段から3段まで  
止水高さを自由に調整。

浮力起伏式止水板  
アクアフロート

倒伏時は車両通行可能!

電源不要!  
水の浮力により  
自動で起伏し浸水を防ぐ。

# 熱中症対策に!

屋内用遮熱シート  
はるクール

体感温度が3℃下がる!

輻射熱を最大97%カット!  
室内の温度上昇を抑える。